



AMX-10 よろけボーダーのバッグ&ポーチ



デザイナー / 山下ニヒ子

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
フォセッタ	No.2	㉑(オフホワイト)	0.9玉
	No.10	㉒(えんじ)	0.1玉
スピニングゴールド	No.11	㉓(ブルー)	0.8玉
	No.10	㉔(グリーン)	0.8玉
エコアンダリヤ<かすり染め>	No.226	㉕(赤・緑・黄系)	0.5玉
エコアンダリヤ	No.168	㉖(オフホワイト)	0.3玉
	No.17	㉗(グリーン)	0.1玉

●使用ヘドル…40羽 (40本/10cm)

※㉗の糸はポーチにのみ使います。

●付属品…レザー持ち手41cm (茶/アンティーク/H210-505-13) 1組、
裏地 (39×68cm、16×26cm) 各1枚、接着芯 (37×67cm) 1枚
ファスナー (14cm) 1本

●ヨコ糸密度…㉖部分46段/10cm、㉕部分37段/10cm、㉗部分27段/7cm

●織り上がり寸法…バッグ 長さ70cm、幅37cm
ポーチ 長さ15cm、幅28cm

●作り方

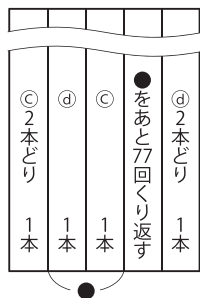
1 タテ糸を配色どおり張る。

タテ糸の本数…㉓80本、㉔80本(合計160本)

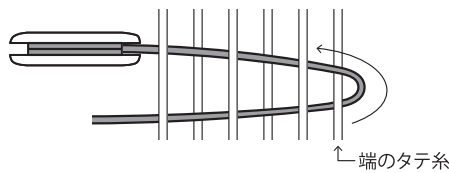
ヘドル通し幅…40cm

タテ糸の長さ…130cm

〈タテ糸配色〉



〈㉖2本どり1段の織り方〉

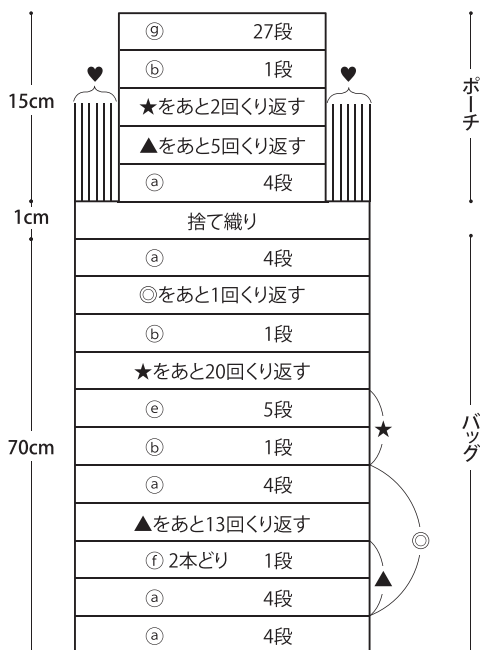


糸はシャトルに1本どりで巻きつける。
端のタテ糸に引っ掛け、同じ開きの
ところに2回ヨコ糸を通す。

2 ヨコ糸を配色どおり織る。

♥=ポーチを織り進んだら
端から16本分タテ糸を切る

〈ヨコ糸デザイン図〉



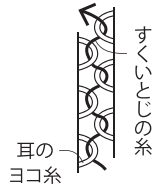
※㉖2本どり1段の織り方は図参照

※ヨコ糸は切らずに、
端で上に渡して
織り進む。

3 織り端にジグザグミシンをかけ、フサを短く切る。

4 織地裏に接着芯を貼る。

〈すくいとじ〉

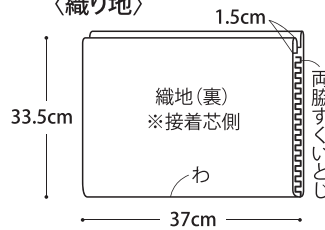


5 仕立てる。

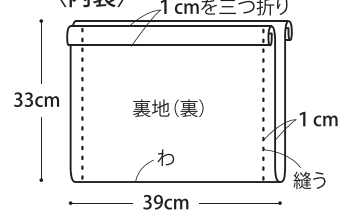
① 織地、内袋を寸法通り縫う。

バッグ

〈織り地〉

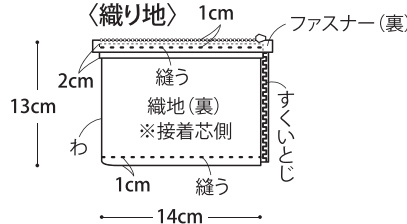


〈内袋〉

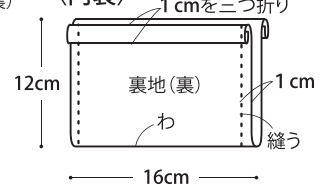


ポーチ

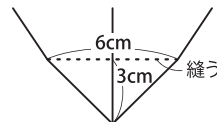
〈織り地〉



〈内袋〉

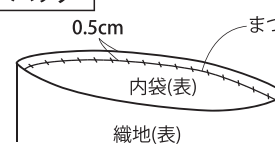


2 バッグの織地と内袋にマチをつける。



3 内袋をまつりつける。

バッグ

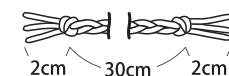


ポーチ



4 ポーチの持ち手をつくる。

① 1本どり50cmを3本用意し、三つ編みを編んで両端をひと結びする。

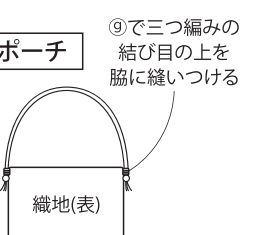


5 持ち手をつける。

バッグ



ポーチ



②で三つ編みの
結び目の上を
脇に縫いつける

禁複写